

資料編

医療と福祉の連携を推進する都道府県における中核的人材育成研修会 プログラム（参考）

時間	研修内容
10:00～10:40 (40)	行政説明
10:40～12:00 (40)	地域において育成されるべき人材イメージ ①第2号研修の概要 方策のひとつとして退院後生活環境指導員が存在し、地域で連携しなくてはならない連携の復習（ポイントは医療と福祉の連携です） ※（国（厚労省）が育成する、地域人材を読み解く）
(40)	②中核人材とは（医療・福祉に資する人材、その役割） どのような位置づけ、いかに期待されているか
昼休憩（70分） 12:00～13:10	
13:10～14:20 (Total 70)	シンポジウム コーディネーター 1名、パネリスト5名、助言者
13:10～14:00 I (50)	I これからの精神科医療が目指すべきもの、そのための連携とは何か？ ○私の思う、これからの精神科医療が目指す方向とその実現のための病院内チーム連携 ○精神障害者支援における福祉の役割、協議会（自立支援協議会）の活動の現状を通じて ○「目指す方向」に向けて、医療と福祉はどう協働していくことが出来るのか？
14:00～14:15 II (15)	II 目指すべき精神科医療・福祉連携を実現するための仕組みづくりに、中核人材が果たす役割 ○官（都道府県・市町村）と民（病院・福祉事業所など）の連携を具体的に促すために、何が出来るのか？
14:15～14:20 III (5)	IIIまとめ（厚生労働省） ○各自治体の皆様に期待すること
休憩（20分） 14:20～14:40	
14:40～17:40 (Total180)	演習
14:40～15:10 (30)	① 県の実践モデルの紹介（2つ）と演習の進め方 ・県の実践モデルの紹介（2県予定） ・各県担当者の補足解説（各県担当者）
15:10～15:50 (40)	②ワークショップ [ゴール]各都道府県の仕組みづくり ・各都道府県のグループで現状と課題の共有
15:50～17:20 (90)	IIIロードマップ作成 ○今回の研修を受講し、自分の地域に持ち帰り、どのような研修をするのか考えることで、以下のようなプロセスをまず考えて実践できる ・研修内容を共有 ・今後自分たちは何をしようか考える ・現場の人たち、様々な職能団体とどのように協働するか
17:20～17:40 (20)	まとめ

MEMO

平成 26 年度精神障害者保健福祉等サービス提供体制整備促進事業に関する研修

企画委員会 委員名簿

(五十音順)

委員	所属
東 美奈子	一般社団法人日本精神科看護協会 理事
岩上 洋一	特定非営利活動法人じりつ 代表理事
岡部 正文	一般社団法人ソラティオ 代表理事
荻原 喜茂	一般社団法人日本作業療法士協会 副会長・事務局長
春日 里江	東京都福祉保健局 障害者施策推進部 精神保健・医療課 精神保健担当係長
川副 泰成	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター 院長 (公益社団法人 全国自治体病院協議会 精神科特別部会 医療情報委員長)
櫻木 章司	医療法人桜樹会 桜木病院 理事長・院長 (公益社団法人 日本精神科病院協会政策委員会 委員長)
白石 弘巳	東洋大学ライフデザイン学部 教授
水野 拓二	公益社団法人日本精神保健福祉士協会 業務執行理事・常任理事
山之内 芳雄	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会精神保健研究部 室長